

10-4 移動等円滑化経路を構成する傾斜路

政 令	条 例
<p>第十八条第2項</p> <p>四 当該移動等円滑化経路を構成する傾斜路（階段に代わり、又はこれに併設するものに限る。）は、第十三条の規定によるほか、次に掲げるものであること。</p> <p>イ 幅は、階段に代わるものにあつては百二十センチメートル以上、階段に併設するものにあつては九十センチメートル以上とすること。</p> <p>ロ 勾配は、十二分の一を超えないこと。ただし、高さが十六センチメートル以下のものにあつては、八分の一を超えないこと。</p> <p>ハ 高さが七十五センチメートルを超えるものにあつては、高さ七十五センチメートル以内ごとに踏幅が百五十センチメートル以上の踊場を設けること。</p>	

◎ 移動等円滑化基準チェックリスト

施設等	チェック項目	
(移動等円滑化経路を構成する) 傾斜路 (政令第18条第2項第4号)	①幅は階段に代わる場合は120cm以上、階段に併設する場合は90cm以上であるか	
	②勾配は1/12を超えていないか(高さ16cm以下の場合は1/8を超えていないか)	
	③高さ75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設けているか	

[解説]

○移動等円滑化経路を構成する傾斜路（階段に代わり、又はこれに併設するものに限る。）の規定である。

チェックリスト①（政令第18条第2項第4号イ）

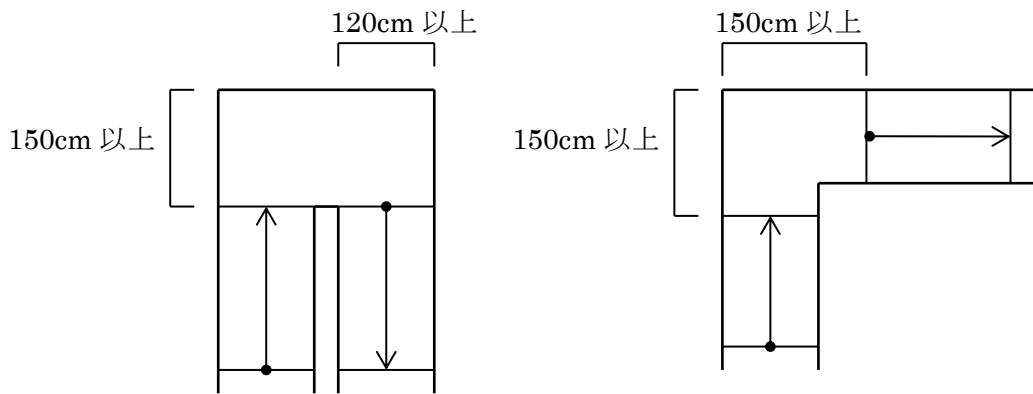
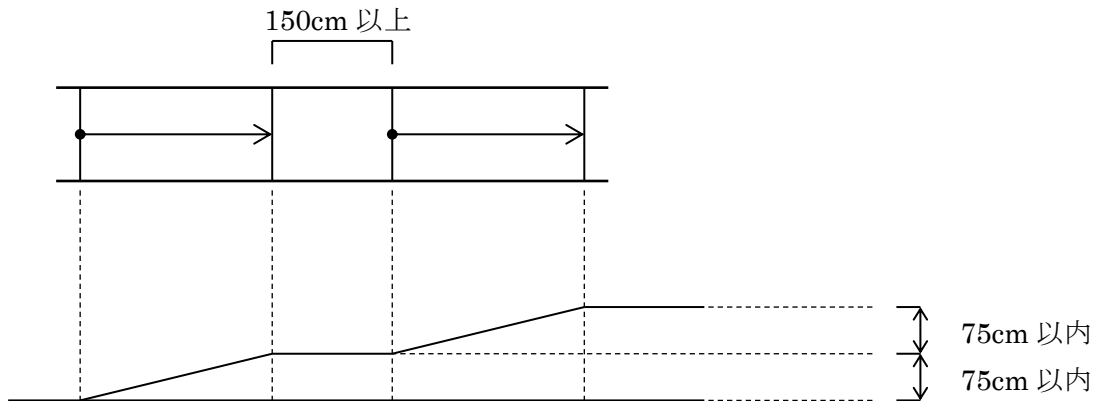
○傾斜路に手すりや立ち上がり部がある場合の有効幅は、その内側（最も狭い部分）で計測する。

チェックリスト②（政令第18条第2項第4号ロ）

○傾斜路の勾配は、車椅子使用者が自力で上ることができるよう、1/12を超えてはならない。なお、傾斜路部分の高さが16cm以下の場合は1/8を超えてはならない。

チェックリスト③ (政令第18条第2項第4号ハ)

○踊り場の踏幅は次のとおりとする。



参考

[法逐条解説] 政令第18条 : P45~P50

[建築設計標準] 2.4 屋内の通路 : P2-79~P2-87